

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 02020050

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ※CIデザイン商標登録次回更新年は平成32年度
基本施策	22 町民主体のまちづくりの推進	事業優先度	B	
単位施策	1 地域づくり活動の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	ふるさと発信CI推進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	2 財務企画課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	ポスター作成枚数、ポスター増刷枚数、名刺台紙作成枚数、着ぐるみ制作	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	ポスター作成100枚、ポスター増刷100枚、名刺台紙5,000枚、着ぐるみ2体	関係例規・法令名	無	
住民参加 住民協働	有 CIデザインについては、町内団体及び全町民が活用可能	関係個別計画名	無	

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
全体計画 事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画 内容	・ポスター作成 300千円(100枚) ・ポスター増刷 110千円(100枚) ・名刺台紙作成 30千円(5,000枚) ・ご当地キャラ制作検討	・ポスター増刷 ・名刺台紙作成	・ポスター作成 ・ポスター増刷 ・名刺台紙作成 ・ご当地キャラ制作検討	・ポスター増刷 ・名刺台紙作成	・ポスター増刷 ・名刺台紙作成	・ポスター作成 ・ポスター増刷 ・名刺台紙作成	
	事業費(千円)	1,300	440	140	140	440	
	財源内訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	0				
その他		0					
一般財源	1,300	140	440	140	440		
実績 事業費	事業費(千円)	819	105	393	181	0	
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	819	105	393	181	140		
関連 事項	特定財源の名称	(実施内容等) ・ポスター増刷(2種 各50枚)	(実施内容等) ・ポスター作成 ・CI背景パネルの作成 ・名刺台紙作成	(実施内容等) ・ポスター増刷 ・名刺台紙作成	(実施内容等) ・CI歓迎のぼり作成 ・名刺台紙作成	(実施内容等)	
	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A 継続/拡充	※事務事業評価結果 A 継続/現状維持	※事務事業評価結果 A 継続/現状維持	※事務事業評価結果 A 継続/現状維持	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 ポスター増刷100枚、名刺台紙5,000枚	ポスター作成100枚、名刺台紙5,000枚、着ぐるみ2体	ポスター増刷100枚、名刺台紙5,000枚	ポスター増刷100枚、名刺台紙5,000枚	ポスター作成100枚、ポスター増刷100枚、名刺台紙5,000枚	
	年度達成率	75%	89%	129%	100%	0%	
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	8%	38%	52%	63%	
	備考欄						

事業名	ふるさと発信CI推進事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木幸博
		評価者 作成者 職氏名	財務企画課長補佐	大水 寛仁

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民及び町外者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	のぼり作成旗数及び名刺台紙印刷枚数 ※ポスター増刷を変更し、汎用性の高い歓迎のぼりを作成したことから、①の指標を変更した								
【抱える課題やニーズは】	さらなる雄武町の認知度向上のため、効果的なCI推進手法の検討が必要	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	情報発信手段の媒体としたCIデザインの継続活用	① のぼり作成旗数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>40旗</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>40旗</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	40旗	実績値	40旗	達成度	100.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	40旗										
実績値	40旗										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	雄武町の認知度及び地域イメージの向上	② 名刺台紙印刷枚数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>5000枚</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>10000枚</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>200.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	5000枚	実績値	10000枚	達成度	200.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	5000枚										
実績値	10000枚										
達成度	200.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	CI歓迎のぼりの作成	CIデザインを活用したのぼりを40旗作成し、大学駅伝チームの合宿受入の際、宿泊施設付近の沿道に設置し歓迎ムードを高めた ※作成したのぼりは、様々な事業・イベントに活用できる汎用性の高いものとした									
	名刺台紙の作成(増刷)	CIデザインを活用した名刺台紙を10,000枚増刷した									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本事業は、雄武町の統一したイメージの確立を図るものであること、商標権の権利も雄武町が所有していることから、行政主導で行うべきものであると同時に、民間の活用を促す必要がある
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	のぼり旗及び名刺は町内外を問わず不特定多数の人に発信する媒体となり、CIデザインを広める手段として有効である
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	のぼりについては、ポスター増刷予算を活用して作成、名刺台紙については、利用者の増加により予定を上回る枚数を作成する必要が生じたが、トータルで当該事業の当初予算内で対応できたため効率的と判断する
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	のぼり旗及び名刺台紙の使用については、町民や団体が公益的な目的で無料で活用できるものであることから、公平性が確保されるものと判断する
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町の情報発信手段の1つとしてCIを活用することにより、イメージの定着・認知度向上の一助となっている		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も引き続き、ポスターや名刺台紙を中心とした事業とするが、適宜、ニーズに応じた柔軟な発信手段を企画検討しながら、事業の効果的促進を図ることとする		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止